

出展の基本テーマと理念

「環境先進都市・水都大阪の挑戦」

1400年の持続都市である大阪は「水の利」を活かし水運を発展させ、日本最大の交易・商業都市として栄えてきた。大阪は、「水害」や大気汚染をはじめ様々な公害問題を克服し、安全で快適な暮らしを提供するため、環境技術の開発、環境共生型のまちづくりを進め、「環境先進都市・水都大阪」を実現してきた。こうした大阪の、官民あげての優れた実践例と技術を紹介し、世界の都市環境改善に資するとともに、水都大阪の魅力をひろく発信することを目的に、2010年上海万博に出展する。

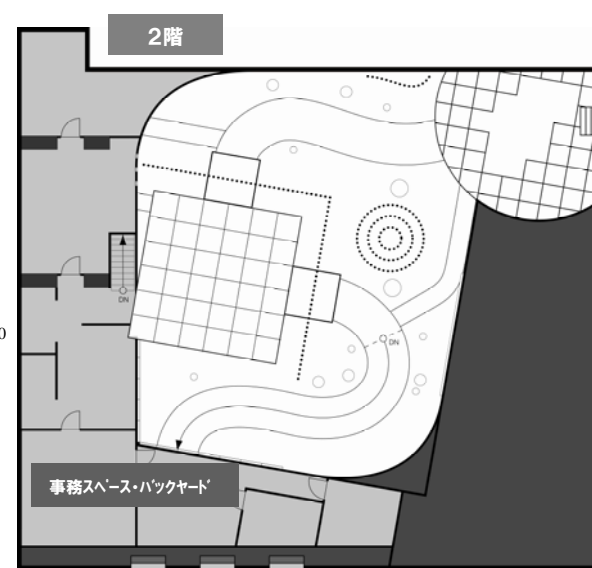
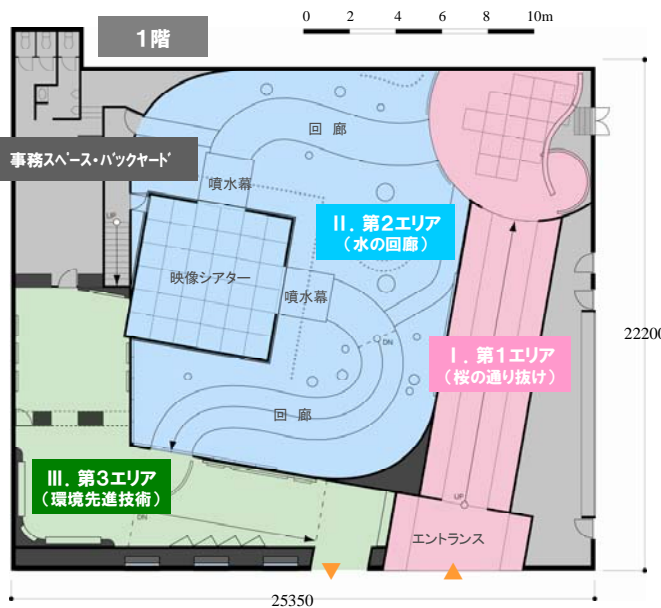
展示の基本方針

- 「環境先進都市・水都大阪の挑戦」を躍動感たっぷりに力強く、わかりやすく見せていく。
- 長年に亘って育ててきた水都大阪の魅力を核にして、環境先進技術を横糸に、都市の開発の歴史と未来を縦糸に、ストーリー性のある立体絵巻として描き出していく。

展示展開の概要

水上に描く「環境先進都市・水都大阪」

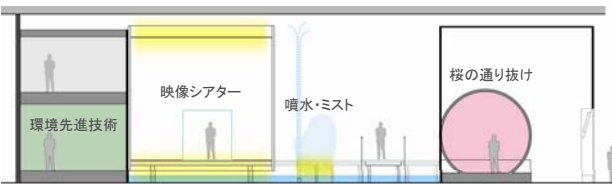
- 展示は大きく分けて3つのエリアで構成され、大阪の春、夏、秋、冬の四季の移ろいにのせて、環境先進都市・水都大阪の魅力と官民の環境先進技術を分かりやすく、楽しく演出する。
- 第2エリア(メインショー)に浅い水盤を設け、その水面上に「回廊」を作り、回廊に沿って展示・噴水・映像を演出する。



・基本面積:568㎡ ・延床面積:715㎡ (2階部分は約155㎡)  
 ・建築面積:560㎡ ・最高部の高さ:7m

【要望事項】

提示のあった区画(568㎡)では、必要な諸室(715㎡)の確保が不可能なため、現案では、一部2階建としているが、円滑な運営や展示の充実のために、1階建といたしたく、区画面積の拡大を要望する。



I. 第1エリア



大阪の春～桜の通り抜け

- ・日本の春を感じることができる大阪が誇る桜の名所「造幣局の桜の通り抜け」のイメージを表現。
- ・大阪の浸水対策施設の「なにわ大放水路」を模したトンネルの壁面一面に、桜並木に覆われた大阪の春の美しい世界を映像で紹介。



水・環境に対する取組みの歴史(治水・活水技術)

- ・桜のトンネルを抜けると、先進的な都市の映像が出現。
- ・床下のジオラマ、展示コーナーとあわせて、壁面の映像で水都大阪の水・環境に対する取組みの歴史を分かりやすく紹介。



II. 第2エリア(メインショー)



映像シアター(環境・水・未来)

- ・「水の回廊」沿いに、水と噴水の涼やかな世界が目飛び込み、ライトアップされた水の輝き、水の跳ねる音が心地よく響く空間を表現。
- ・噴水の幕の向こうにシアターが現れ、大阪の水・環境に対する取組み成果と、そこから生まれた水辺の美しい風景、また、近未来の大阪の都市像を3DCGを駆使した全周映像で紹介。
- ・回廊沿いに展示ケースや円筒型モニターを設置し、官民の先進技術を紹介。



水都大阪の今昔

- ・水都大阪の美しき輝きを伝える浮世絵版画と現代の水都の名所の映像を交互に次々と展開。
- ・大型映像装置を用いて、水都大阪の水が生み出す美観を紹介。



III. 第3エリア



水都大阪の環境先進技術

- ・水都大阪の最新の技術を駆使した環境先進都市のまちづくり事例や環境技術を展示、映像やパネルで紹介。
- ・大阪のおいしい水を生み出す「高度浄水処理技術」などの水処理技術をはじめ様々な官民の先進技術を紹介。



大阪・関西の魅力

- ・映像やパネル、各種パンフレットなどで、大阪や京都・兵庫・奈良・滋賀・和歌山などの関西の様々な都市魅力や観光情報を紹介。

